

授業概要

私たちは持続可能な社会の実現に向けて行動することが求められている。このような状況にあって、「持続可能な社会とはどのような社会か」という問題について、経済学が導き出す結論が社会の処方箋として有効な手段となりうることを理解できるよう講義する。特に学生諸君には自分の課題として受け止めてもらい、市場経済についての理論分析とデータに基づいた正しい認識を持てるようにしたい。またこの講義を通じて、どのように行動すれば持続可能な社会が実現できるのかについて考えたい。このような問題意識の下、この講義が、学生諸君にとって考える切っ掛けとなるように講義を進めていきたい。

授業計画

第1回	ガイダンス 授業概要と評価方法
第2回	消費者行動 需要法則
第3回	生産者行動(1) 供給法則
第4回	市場の理論 価格の決定
第5回	経済取引から得られる利益 消費者余剰と生産者余剰
第6回	生産者行動(2) 生産費に環境保全費用、例えばゴミ処理費用を追加する
第7回	経済分析(1) 市場取引と経済政策 損失(死荷重)の発生
第8回	経済分析(2) 生産者余剰の変化
第9回	経済分析(3) 消費者余剰の変化
第10回	ゴミ処理費用追加前を再考する 総余剰として適切か
第11回	ゴミ処理費用を生産費に入れずに生産活動している社会 良い所と悪い所
第12回	ゴミ処理費用を生産費に入れて生産活動している社会 良い所と悪い所
第13回	ゴミ処理費用を生産費に入れて生産活動している社会としない社会 どちらが望ましいか
第14回	私たちが目指す社会(1) SDGs
第15回	私たちが目指す社会(2) 包摂社会
第16回	期末試験 筆記試験の実施

到達目標

経済学の考え方、分析手法、論理体系を学ぶことで、よりよい国際社会を構築するために社会をどうデザインしたらよいかを考えることを通じて、最終的には学生個人が一人の社会人としての見識を持ち、現代社会を批判的に考察できる。

履修上の注意

- ・この授業は、PBL (Project Based Learning) を積極的に用い、学生間での意見交換を重視し参加型の講義を行います。特別講師等を外部から招聘する場合があります。
- ・シラバスの内容は、参加者の人数や受講学生の関心などに応じて調整・変更される場合があります。また、通常の学内教室以外で授業(学外授業)を実施する場合があります。遅刻3回で欠席1回分にカウントします。
- ・必要なら初歩的レベルから丁寧に解説をしていくので、基礎知識がなくてもやる気さえあれば十分な能力を身につけられるように指導します。

予習復習

第14回のSDGsと第15回の包摂社会について事前に調べておくこと。講義で描いた図が何を表しているのかを講義後にまとめること。

評価方法

期末試験としての筆記試験 100%で評価する。また、毎回出席を取る。

テキスト

特に指定はしないが、その都度推奨図書や参考図書を紹介し、その他必要に応じて、HP等からのデータ引用を行う。

授業概要

経済学の基礎的な内容（ミクロ・マクロ）について講義を行う。本講義では、基礎的レベルから丁寧に解説を行うことで、高等学校で学ぶ「政治・経済」の内容から大学で学ぶ「経済学」への内容へのスムーズな橋渡しをする。身の回りの事例を踏まえながら、私たちの生活の周りに溢れている「経済学」に目を向けながら、講義を進めていく。

授業計画

第1回	イントロダクション・全体の概要と目的を述べるとともに、授業内容について解説する。
第2回	家計について学ぶ
第3回	企業について学ぶ①：費用と利潤
第4回	企業について学ぶ②：独占市場・寡占市場
第5回	市場メカニズムについて学ぶ
第6回	市場の失敗について学ぶ
第7回	政府について学ぶ
第8回	金融について学ぶ
第9回	マクロ市場について学ぶ①：GDP
第10回	マクロ市場について学ぶ②：IS-LMモデル
第11回	マクロ政策について学ぶ①：財政政策
第12回	マクロ政策について学ぶ②：金融政策
第13回	国際経済について学ぶ①：貿易理論
第14回	国際経済について学ぶ②：日本経済の国際化
第15回	全体のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

- ・経済学の基本的な知識・専門用語を身につけ、経済関連のニュースや文章を理解できる。
- ・経済学の考え方、分析手法、論理体系を学ぶことで、これからの経済学の勉強や、社会生活を過ごしていく上で、応用ができる。

履修上の注意

1. 講義内容や授業全体に関わる重要事項を第1回目に説明する。単位認定に関わるので、必ず第1回目の授業に出席すること。
2. やむを得ない欠席は「履修にてびき」に記載の手続きをすること。
3. 公共交通機関の遅延などのやむを得ない場合を除き、授業開始から15分以降の入室は、欠席として扱う。

予習・復習

予習：授業のレジュメを把握し、教科書の該当箇所と新聞・ウェブサイトで取り上げられている経済に関する記事をよく読むこと。

復習：配布した参考資料を読み、授業時に示す課題について回答レポートを作成すること。

評価方法

筆記試験 70%、授業後の回答レポートの提出状況 30%

テキスト

- ・教科書名：『コンパクト 経済学 第3版』
- ・著者名：井堀利宏
- ・出版社名：新世社
- ・出版年 (ISBN)：2024年 (978-4-88384-389-3)